

教科	数学	科目	数学B	学年	第3学年	講座	
単位数	3 単位	教科書	改訂版 最新 数学B (数研出版)				
副教材	改訂版 基本と演習テーマ 数学II+B (数研出版)						

目標	基礎・基本を定着させるとともに、数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培う。
----	---

学習計画及び内容			考査
1 学 期	4月	第3章 数列	第1回考査
	5月	第1節 数列とその和	
	6月	第2節 漸化式と数学的帰納法	第2回考査
	7月	漸化式と一般項、数学的帰納法	
2 学 期	8月	第1章 平面上のベクトル	第3回考査
	9月	第1節 ベクトルとその演算	
	10月	第2節 ベクトルと平面図形	第4回考査
	11月	第2章 空間のベクトル	
12月	空間の座標、空間のベクトル、ベクトルの成分と演算、ベクトルの内積、位置ベクトル、空間図形への応用		
3 学 期	1月	問題演習	第5回考査
	2月		
	3月		

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予習として教科書の次時の授業で学習するところを読んでおく。</li> <li>・ 授業では、教科書の問題ができれば、自主的に問題集の同じ内容のところを解き、分からないところは質問する。</li> <li>・ 復習及び考査前学習としては、教科書・問題集を繰り返し解く。</li> <li>・ 1日あたりの家庭学習時間は、予習 10分、復習 30分を目安にすること。</li> </ul>
-------	---

	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
評価の観点	数列及びベクトルに関して、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列及びベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列及びベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列及びベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。

備考	
----	--